

## 育友会 I B ブログリレー

### ① はじめに

この度、育友会のご協力をいただき、このブログに国際バカロレア教育（I B）に関する記事を担当する教職員によるリレー形式で掲載していただけることになりました。あまり堅苦しくならないように心がけていきますので、どうぞよろしくをお願いします。

まず「なぜ倉東が I B を導入するのか？」についてお話ししたいと思います。I B は多文化に対する理解と尊敬を通じて、平和でより良い世界に貢献できる若者の育成を目的とした国際水準の教育プログラムで、国語・数学・理科などグループ 1～6 の 6 科目と 3 つのコア科目で構成されています。倉吉東高校には「主体的な学習者の育成」と「21 世紀をリードする人材の育成」を柱とする「倉吉東高のかたち」がありますが、これは I B の理念や I B が目標とする「10 の学習者像」と親和性が高く、I B を導入することで学校全体の教育力をさらに高め、生徒が今後社会で求められる様々な力や素養を身につけることができると考えています。まさに「倉吉東高のかたち」を令和時代に実践する教育手法であると確信しています。

※10 の学習者像…考える人、知識のある人、探究する人、コミュニケーションができる人、挑戦する人、思いやりのある人、信念を持つ人、心を開く人、バランスのとれた人、振り返りができる人
--

本校では 1 年次に I B コースの希望調査を行い、生徒・保護者との面談などを経て 20 名程度の I B 生を決定します。2 年次からは、I B 生は独自のカリキュラムに従って学習を行い、3 年次 11 月に I B 資格試験（世界共通）を受験します。I B 資格は海外の多くの大学で入学資格として受け入れられるとともに、試験のスコアが入学者選抜で広く活用されています。また近年国内でも、I B 資格のスコアを活用した入学者選抜を導入する大学が増えてきています。

現在倉吉東高は候補校であり、令和 4 年度認定校取得を目指しています。令和 5 年度入学生が I B 一期生となる予定ですので、現在の生徒が直接 I B を受けることはありませんが、その調査・研究で学んだことは今後の授業等を通じて現役生に還元していきたいと考えています。保護者の皆さんとしては、「どんな内容を学習するのか？」が気になるころだと思いますが、次回からはそれぞれの科目の学習内容について担当者からお話しさせていただきますので、どうぞお楽しみに！（校長 福光 浩）